

令和4年度第6回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録

日時・場所：令和4年9月20日（火）15:30～16:20 評議会室

出席者：廣川理事長、宮川副理事長、山根理事、安原理事、高橋理事、林理事、上原理事、
山本監事、元永監事

事務局：八里事務局次長、山田総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、
川分学生・就職支援課長、郡田教務課長、山中地域連携・研究支援課長、
出口高等専門学校開設準備室長、前田課長補佐、藤居主幹

令和4年度第5回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録（案）は、原案どおり承認された。

議 題

（審議事項）

1 地方公務員等共済組合法の改正に伴う就業規則の改正について

山田総務課長から、資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

〔主な意見・質疑等〕

- ・協会けんぽから共済組合に変わると、本人にはどのようなメリットがあるか。
→ 共済組合になると、年金に付加給付があり、公立学校共済組合の実施する人間ドック等を受けられるようになる。

（報告事項）

1 新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる対応について

宮川副理事長から、資料に基づき報告があった。

〔主な意見・質疑等〕

- ・大学でのコロナの感染状況はどのように把握されているか。
→ 週単位での感染者数は、9月10日～16日で教職員は4人、学生は3人と、一時期2桁が続いていた頃と比べると落ち着いてきている。全国的にピークを越えたと言われているが、本学でも同様の傾向にある。

2 「令和の時代の滋賀の高専」基本構想に向けた中間報告

出口高等専門学校開設準備室長から、資料に基づき報告があった。

〔主な意見・質疑等〕

- ・県内の産業力強化が高専の目指すところだと思うが、独自性を出さないと産業力は定着しないと思う。情報技術で独自性や滋賀県らしさは出しにくいので、環境工学を学べるようなプログラムがあればよいと思う。
- ・県立大学のある彦根と高専が設置される野洲とは離れているが、どのようにシナジー効果を

出すのかを検討していただきたい。

- ・現状では卒業生の多くが県外で就職しているが、産業界と連携して、卒業生の県内就職を拡大していただきたい。
→ 県で新たにつくられる連絡会議や県商工観光労働部を通して産業界と連携していきたい。総会等の場でも、産業界の方々と情報交換していきたい。

(その他)

1 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正等に伴う育児休業
規程等の改正について

山田総務課長から、資料に基づき、説明があった。